

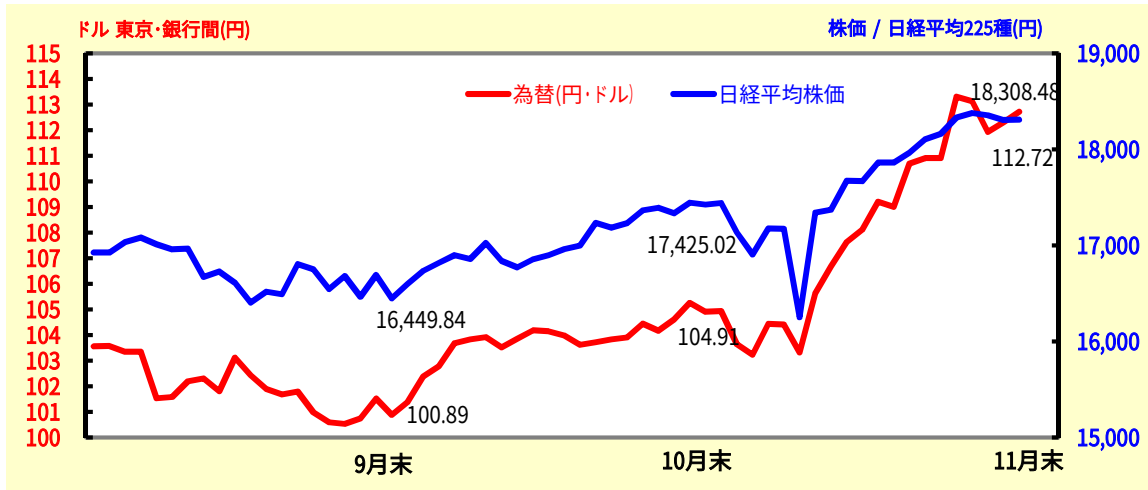
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 平成28年10月～12月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

平成28年10～12月期の業況/平成29年1～3月期の業況予想

今回の調査実施時期

平成28年12月中旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡 (事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	61先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	22先	不動産業	16先

調査方法

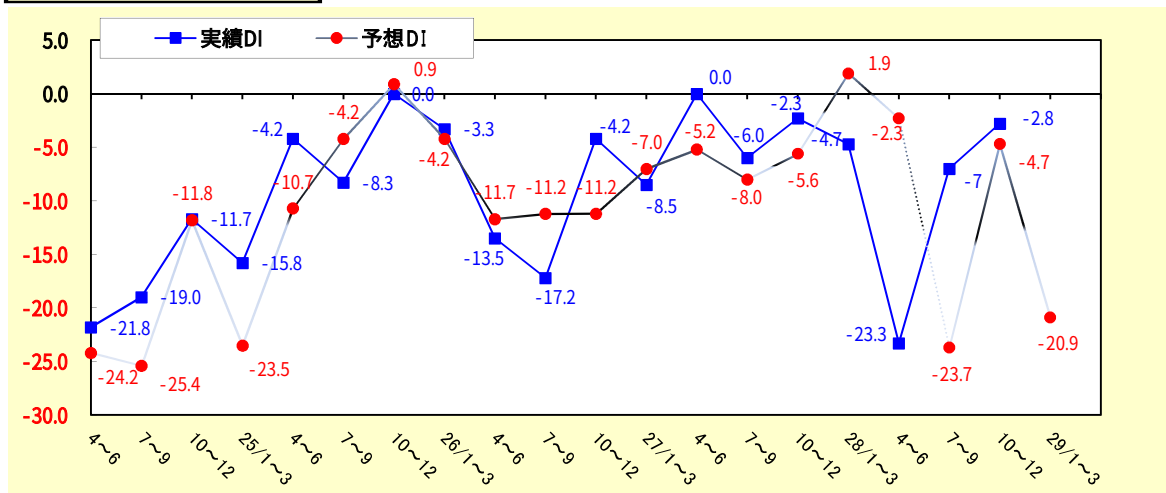
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

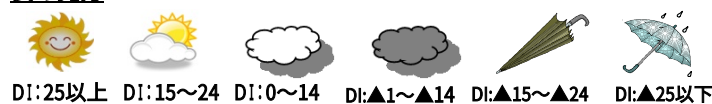
県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



		10~12月期実績				1~3月期予想			
		総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総 合	合								
		▲2.8	▲6.6	▲2.4	5.0	▲20.9	▲27.5	▲25.0	2.5
製 造 業	業								
		▲25.8	▲37.5	▲60.0	10.0	▲32.2	▲37.5	▲80.0	0.0
小 売 業	業								
		▲15.2	▲26.9	▲12.0	12.5	▲25.0	▲26.9	▲34.6	12.5
卸 売 業	業								
		▲12.0	▲22.2	▲20.0	16.6	▲40.0	▲33.3	▲60.0	▲16.6
サ ー ビ ス 業	業								
		10.0	14.2	7.1	0.0	▲16.6	▲35.7	0.0	0.0
建 設 業	業								
		36.3	80.0	44.4	0.0	0.0	0.0	▲11.1	12.5
不 動 産 業	業								
		0.0	14.2	0.0	▲25.0	0.0	14.2	▲16.6	0.0

10月~12月の県内経済概況

(当金庫景気動向調査まとめ)

10月~12月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは▲2.8となり、前期比4.2ポイント上昇となっています。

業種別の状況は、製造業は▲25.8となり、前期比19.4ポイント下降、小売業は▲15.2となり、前期比1.7ポイント上昇、卸売業は▲12.0となり、前期比24.0ポイント上昇、サービス業は10.0となり、前期比5.0ポイント上昇、建設業は36.3ポイントとなり、前期比18.2ポイント上昇、不動産業は0.0となり、前期比5.8ポイント上昇となっています。

地域別では、別府地区が▲6.6となり、前期比4.4ポイント下降、大分地区が▲2.4となり、前期比13.3ポイント上昇、県北地区が5.0となり、前期比5.0ポイント上昇となっています。

業 種 別 景 況

製 造 業

● 当期(10月～12月)の景況

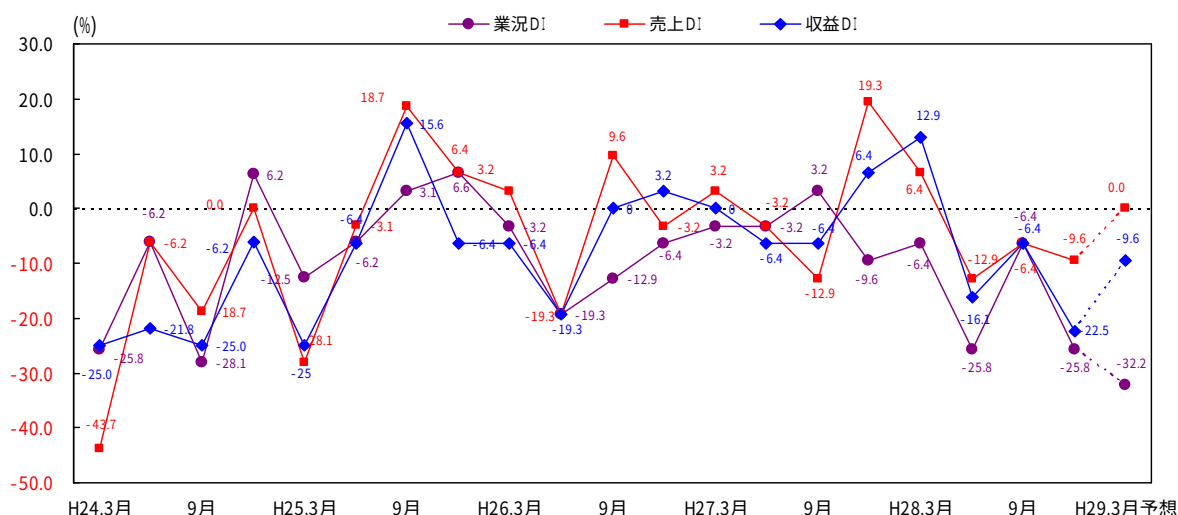
全域における業況DIは▲25.8となり、前期比19.4ポイント下降、前年同期比16.2ポイント下降となっています。売上DIは▲9.6となり、前期比3.2ポイント下降、前年同期比28.9ポイント下降となっています。収益DIは▲22.5となり、前期比16.1ポイント下降、前年同期比28.9ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲37.5となり、前期比25.0ポイント下降、前年同期比12.5ポイント下降で、大分地区が▲60.0ポイントとなり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比40.0ポイント下降、県北地区が10.0となり、前期比20.0ポイント下降、前年同期比10.0ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲32.2となり、今期比6.4ポイント下降となっています。売上予想DIは0.0となり今期比9.6ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲9.6となり今期比12.9ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲37.5、大分地区が▲80.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	19.4%
原材料高	11.9%
同業者間の競争激化	10.4%
利幅の縮小	8.9%
工場・機械の狭小・老朽化	7.4%

最重要経営施策

販路拡大	21.2%
経費節減	21.2%
人材確保	13.6%
新製品・技術開発	10.6%
情報力強化	9.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- 野菜価格の高騰により仕入価格が対前年3～5倍に上昇、資金繰りを圧迫している。年末から年明けにかけては、仕入価格も落ち着いてくるのではないかと考えている。(漬物製造)
- 景気に関係なく業況は良くない。経営改善に金融機関等の力を借りて取り組んでいる。(パン和菓子製造)
- 個人を主な販売先として活動しているが、主要顧客の高齢化により年々売上が減少している。(豆腐製造販売)
- 夫婦二人で経営しており、高齢化の問題から今年度で閉店する。(製菓業)
- 熊本地震の影響で売上は減少見込みである。新商品を開発し、売上高の向上に力を入れている。(ざぼん・かぼす製造加工)

小 売 業

● 当期(10月～12月)の景況

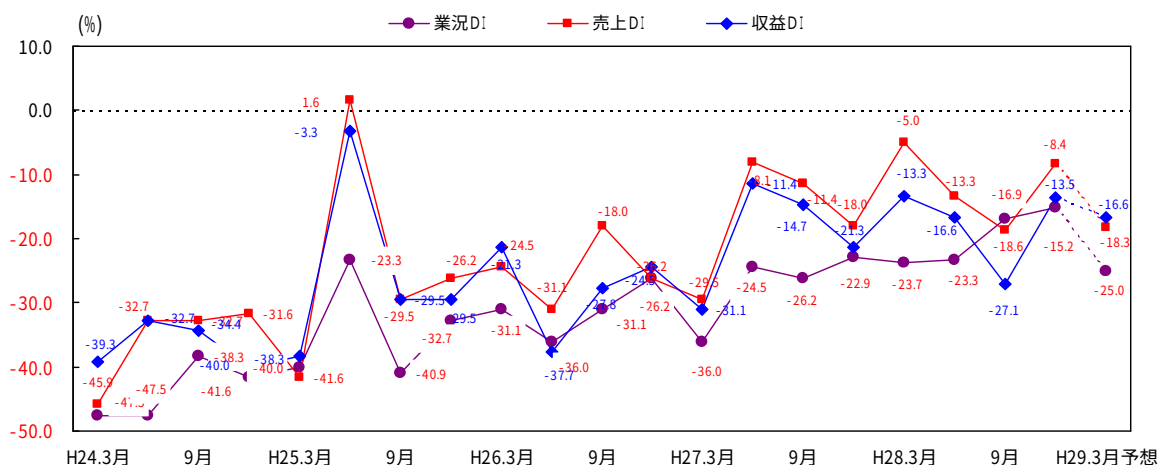
全域における業況DIは▲15.2となり、前期比1.7ポイント上昇、前年同期比7.7ポイント上昇となっています。売上DIは▲8.4となり、前期比10.2ポイント上昇、前年同期比9.6ポイント上昇となっています。収益DIは▲13.5となり、前期比13.6ポイント上昇、前年同期比7.8ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲26.9となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比7.7ポイント上昇、大分地区が▲12.0となり、前期比4.0ポイント上昇、前年同期比13.9ポイント上昇、県北地区が12.5となり、前期比0.0ポイントと同水準、前年同期比12.5ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲25.0となり、今期比9.8ポイント下降となっています。売上予想DIは▲18.3となり、今期比9.9ポイント下降となっています。収益予想DIは▲16.6となり、今期比3.1ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲26.9、大分地区が▲34.6、県北地区が12.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	22.6%
同業者間の競争激化	18.9%
利幅縮小	13.8%
大型店競争激化	13.1%
取引先減少	8.0%

最重要経営施策

経費節減	59.6%
売筋商品取扱	35.0%
品揃え改善	28.0%
宣伝・広告強化	26.3%
仕入先開拓・選別	19.2%

経営者のみなさまの主なコメント

- 今期は仕入価格、販売価格ともに上がった。営業を強化し顧客の取り込みを推進中。(学生服・学生用品販売)
- 業況は横ばい。固定客との繋がりを保ち続けて現状を維持している。(飲食料品)
- 固定客が多く地元へ貢献できるよう経営をしている。しかし業況は横ばいかやや下向きである。(建築材料)
- 売上は横ばいであるが、材料費は高止まりしている。メニューの見直しや経費削減を行っていく。(洋菓子販売)
- 売上は増加傾向。大分市中心市街地に店舗を構えているが、中心部の人の流れは良好とはいえない。(自転車)
- スーパー等にお客様が流れており、売上が減少している。(米穀販売)
- どの企業も行事等で以前ほど花を買わなくなったため、売上高は減少傾向にある。(生花業)

卸 売 業

● 当期(10月～12月)の景況

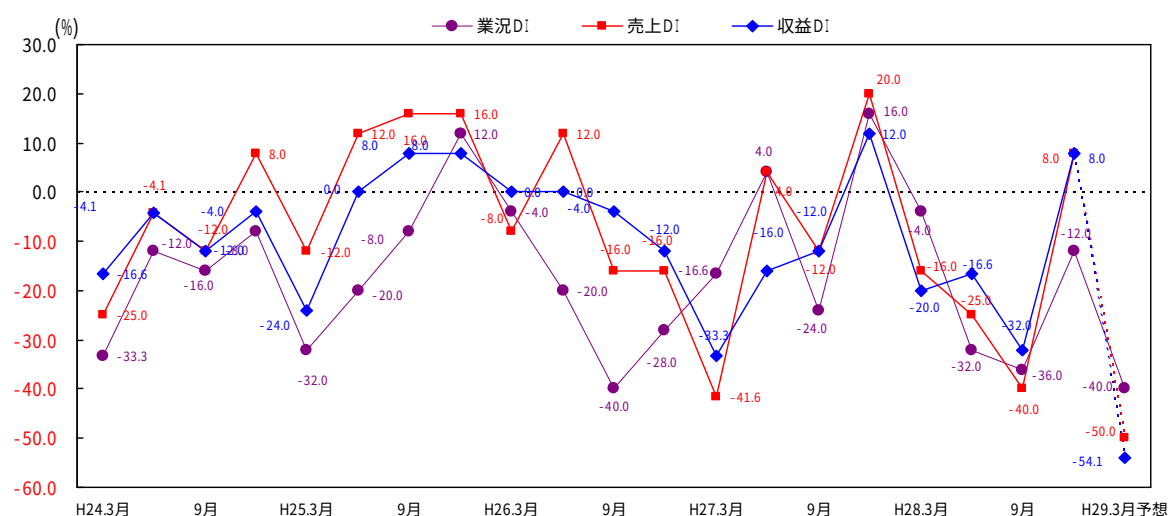
全域における業況DIは▲12.0となり、前期比24.0ポイント上昇、前年同期比28.0ポイント下降となっています。売上DIは8.0となり、前期比48.0ポイント上昇、前年同期比12.0ポイント下降となっています。収益DIは8.0となり、前期比40.0ポイント上昇、前年同期比4.0ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲22.2となり、前期比11.1ポイント下降、前年同期比44.4ポイント下降、大分地区が▲20.0となり、前期比50.0ポイント上昇、前年同期比30.0ポイント下降、県北地区が16.6となり前期比33.2ポイント上昇、前年同期比0.0ポイントと同水準になっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲40.0となり、今期比28.0ポイント下降となっています。売上予想DIは▲50.0となり、今期比58.0ポイント下降となっています。収益予想DIは▲54.1となり、今期比62.1ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲33.3、大分地区が▲60.0、県北地区が▲16.6となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	21.8%
同業者間の競争激化	10.9%
仕入先からの値上要請	9.3%
利幅縮小	7.8%
天候不順	7.8%

最重要経営施策

販路拡大	28.0%
経費節減	17.5%
品揃えの充実化	12.2%
情報力強化	10.5%
人材確保	7.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- 大幅な売上増加が見込めない中、納入先からの値下げ、仕入先からの値上げに対応しつつ利益確保に努める。(土産品卸)
- 外部環境は変化しており、先行きは不透明であるが、無借金経営で堅実な経営を行っている。(オートバイパーツ卸)
- 新事業としてモルダー(材木加工機)を新規導入した。(材木卸)
- 熊本地震の影響で売上は減少したが、従業員一人ひとりの意識に変化が生じ、新しい発想で仕事ができている。社内の雰囲気も明るく、業況はますます好転していくと思う。(食品卸)

サービス業

● 当期(10月～12月)の景況

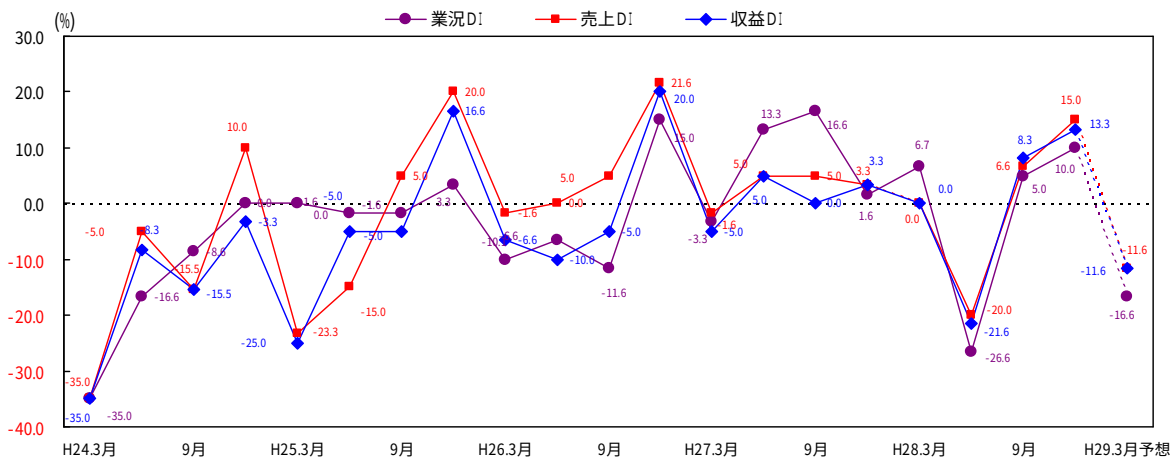
全域における業況DIは10.0となり、前期比5.0ポイント上昇、前年同期比1.6ポイント下降となっています。売上DIは15.0となり、前期比8.4ポイント上昇、前年同期比6.7ポイント上昇となっています。収益DIは13.3となり、前期比5.0ポイント上昇、前期比3.3ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が14.2となり、前期比3.6ポイント下降、前年同期比0.0ポイントと同水準、大分地区が7.1となり、前期比10.6ポイント上昇、前年同期比3.6ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比0.0ポイントと同水準となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲16.6となり、今期比▲26.6ポイント下降となっています。売上予想DIは▲11.6となり、今期比26.6ポイント下降となっています。収益予想DIは▲11.6となり、今期比24.9ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲35.7、大分地区が0.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	20.3%
同業者間の競争激化	17.8%
人手不足	14.6%
店舗・設備狭小・老朽化	8.1%
材料価格の上昇	4.8%

最重要経営施策

販路拡大	19.8%
経費節減	16.3%
人材確保	13.7%
宣伝・広告強化	11.2%
店舗・設備改装	7.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- 固定客の高齢化に伴い減収。若年層の取り込みも難しい。(小料理)
- 設備の改装が顧客の増加につながっている。(ゴルフ練習場)
- 中古車販売、車検整備ともに減少。近隣には競合店が多数ある。(中古車販売・自動車整備業)
- 市内に競争相手は少なく業況は安定はしているが、工夫をしないといと飽きからくる顧客離れは免れない。当面は飲食の知名度を強化し、自力をつけていきたい。(レンタルスタジオ・飲食)
- 新店舗出店やリニューアルオープンが続いた。今後は業況の向上を見込んでいる。(飲食店)
- マイナス金利の影響は特にない。(飲食業)
- 売上に大きな変化はないが、自己資金もありキャッシュフローは確保できている。(クリーニング業)
- 無借金経営を継続している。受注先は安定しており、業況も安定推移。(CM製作)

建設業

● 当期(10月～12月)の景況

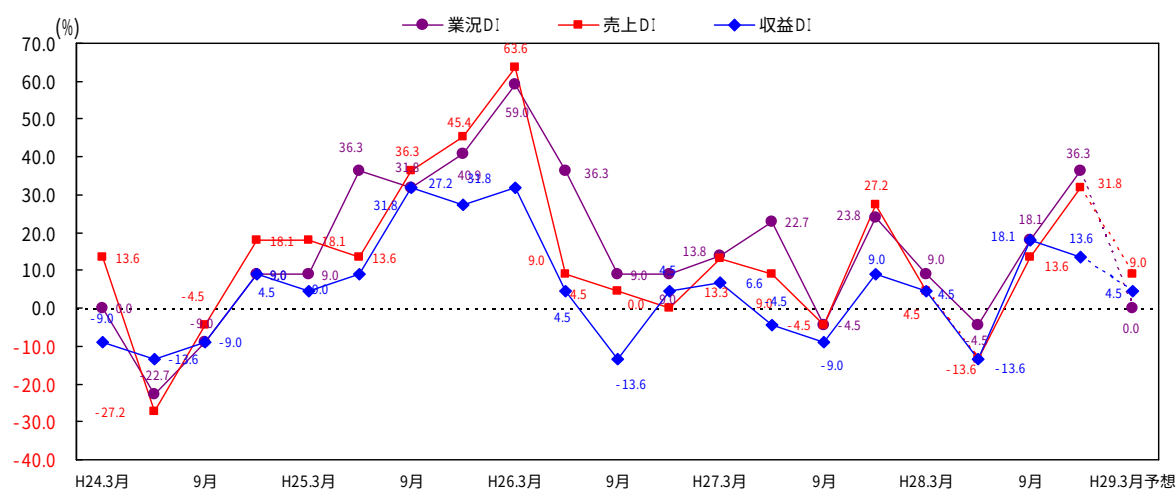
全域における業況DIは36.3となり、前期比18.2ポイント上昇、前年同期比27.3ポイント上昇となっています。売上DIは31.8となり、前期比18.2ポイント上昇、前年同期比4.6ポイント上昇となっています。収益DIは13.6となり、前期比4.5ポイント下降、前年同期比4.6ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が80.0となり、前期比20.0ポイント上昇、前年同期比60.0ポイント上昇で、大分地区が44.4となり、前期比22.2ポイント上昇、前年同期比44.4ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比12.5ポイント上昇、前年同期比12.5ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは0.0となり、今期比36.3ポイント下降となっています。売上予想DIは9.0となり、今期比22.8ポイント下降となっています。収益予想DIは4.5となり、今期比9.1ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が0.0、大分地区が▲11.1、県北地区が12.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	23.4%
材料価格の上昇	14.8%
同業者間の競争激化	12.7%
利幅縮小	12.7%
技術力不足	8.5%

最重要経営施策

人材確保	29.5%
経費節減	20.4%
技術力向上	15.9%
販路拡大	11.3%
情報力強化	6.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 低価格住宅の台頭により若干の受注減となった。しかし、当社の品質に魅力を感じて頂ける顧客も多く、今後も安定した経営を行っていく。(建設業)
- 後継者難であり廃業も検討している。(総合建設業)
- メーカーからの受注単価が下落しており業況に大きく響いている。販路を拡大し、利益率を上げる工夫をしたい。(台所設置)
- 受注工事は安定推移中。キャッシュフローは改善の方向にある。資金繰りは自己資金で対応可能。(建築工事)

不 動 産 業

● 当期(10月～12月)の景況

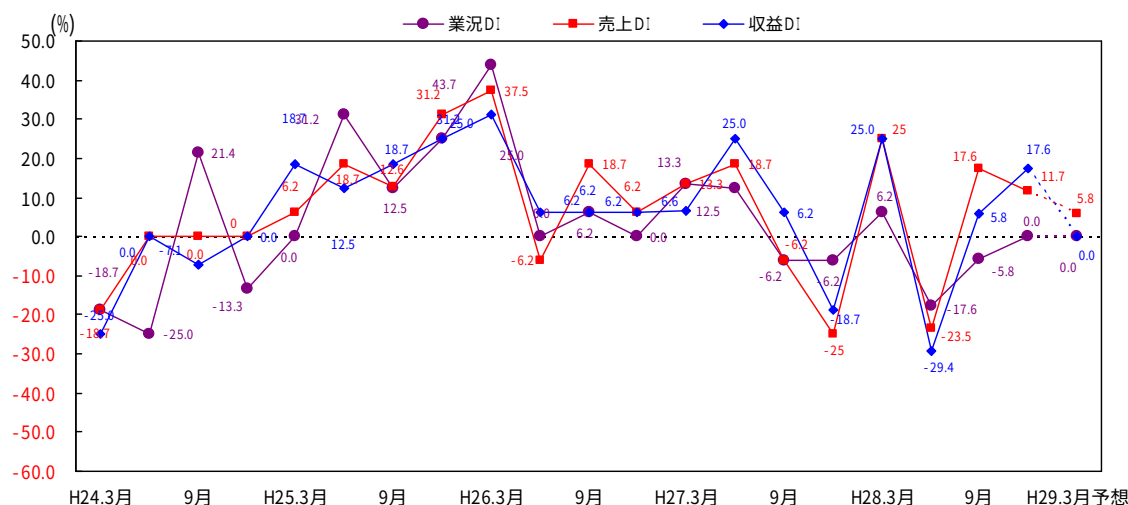
全域における業況DIは0.0となり、前期比5.8ポイント上昇、前年同期比6.2ポイント上昇となっています。売上DIは11.7となり、前期比5.9ポイント下降、前年同期比36.7ポイント上昇となっています。収益DIは17.6となり、前期比11.8ポイント上昇、前年同期比36.3ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が14.2となり前期比14.2ポイント上昇、前年同期比14.2ポイント上昇、大分地区が0.0となり前期比、前年同期比ともに同水準、県北地区が▲25.0となり前期比、前年同期比ともに同水準となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは0.0となり、今期比同水準となっています。売上予想DIは5.8となり、今期比5.9ポイント下降となっています。収益予想DIは0.0となり、今期比17.6ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が14.2、大分地区が▲16.6、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	31.0%
商品物件不足	17.2%
問題なし	13.7%
大手企業との競争激化	13.7%
人手不足	6.8%

最重要経営施策

情報力強化	40.0%
宣伝・広告強化	17.1%
経費節減	14.2%
販路拡大	8.5%
提携先探す	5.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- 大手との競争激化により、商品物件が高騰しており、在庫不足の状況である。(不動産業)
- マイナス金利の影響により借入金利が低下、不動産売買の動きも活発になり、売上増加に繋がった。(不動産業)
- 情報収集に力を入れ、積極的な活動を展開中。(貸家業)
- 従業員は全て女性であり、きめの細かいサービスを心がけている。今後の課題は商品物件を増加させること。(不動産仲介)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	△ 2.8	△ 25.8	△ 15.2	△ 12.0	10.0	36.3	0.0
	1月～3月予想	△ 20.9	△ 32.2	△ 25.0	△ 40.0	△ 16.6	0.0	0.0
売 上	10月～12月実績	5.6	△ 9.6	△ 8.4	8.0	15.0	31.8	11.7
	1月～3月予想	△ 12.6	0.0	△ 18.3	△ 50.0	△ 11.6	9.0	5.8
受 注 残	10月～12月実績	17.0	0.0	***	***	***	40.9	***
	1月～3月予想	0.0	3.2	***	***	***	△ 4.5	***
施工高	10月～12月実績	45.5	***	***	***	***	45.4	***
	1月～3月予想	4.5	***	***	***	***	4.5	***
収 益	10月～12月実績	0.5	△ 22.5	△ 13.5	8.0	13.3	13.6	17.6
	1月～3月予想	△ 15.0	△ 9.6	△ 16.6	△ 54.1	△ 11.6	4.5	0.0
販売価格	10月～12月実績	4.1	6.4	3.3	△ 6.8	8.3	9.0	0.0
	1月～3月予想	△ 3.5	6.4	△ 1.6	△ 8.6	△ 4.4	△ 9.0	△ 11.7
仕入価格	10月～12月実績	21.6	22.5	18.6	28.0	22.0	31.8	5.8
	1月～3月予想	8.0	12.9	6.6	13.0	6.7	9.0	0.0
在庫	10月～12月実績	△ 0.7	3.2	5.0	△ 20.8	***	0.0	0.0
	1月～3月予想	0.0	0.0	1.6	0.0	***	0.0	△ 5.8
資金繰り	10月～12月実績	△ 6.6	△ 29.0	△ 16.9	13.0	0.0	4.5	5.8
	1月～3月予想	△ 7.5	△ 6.4	△ 16.6	△ 13.6	△ 3.3	0.0	5.8
残業時間	10月～12月実績	7.0	16.1	0.0	20.0	6.7	4.5	0.0
	1月～3月予想	3.3	25.8	1.6	△ 13.0	5.1	△ 9.0	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 24.4	△ 25.8	△ 11.8	△ 32.0	△ 28.8	△ 50.0	△ 5.8
	1月～3月予想	△ 15.7	△ 9.6	△ 8.3	△ 4.3	△ 26.3	△ 36.3	△ 5.8

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	△ 6.6	△ 37.5	△ 26.9	△ 22.2	14.2	80.0	14.2
	1月～3月予想	△ 27.5	△ 37.5	△ 26.9	△ 33.3	△ 35.7	0.0	14.2
売 上	10月～12月実績	1.1	△ 25.0	△ 19.2	△ 22.2	25.0	60.0	28.5
	1月～3月予想	△ 26.7	△ 18.7	△ 34.6	△ 50.0	△ 32.1	0.0	14.2
受 注 残	10月～12月実績	4.8	△ 12.5	***	***	***	60.0	***
	1月～3月予想	△ 9.5	△ 12.5	***	***	***	0.0	***
施工高	10月～12月実績	60.0	***	***	***	***	60.0	***
	1月～3月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収 益	10月～12月実績	0.0	△ 31.2	△ 19.2	△ 22.2	28.5	40.0	28.5
	1月～3月予想	△ 27.8	△ 31.2	△ 30.7	△ 50.0	△ 28.5	0.0	0.0
販売価格	10月～12月実績	7.7	6.2	3.8	△ 11.1	10.7	60.0	0.0
	1月～3月予想	0.0	6.2	△ 3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
仕入価格	10月～12月実績	24.4	12.5	23.0	22.2	25.9	80.0	14.2
	1月～3月予想	6.8	6.2	△ 3.8	14.2	7.4	40.0	14.2
在庫	10月～12月実績	△ 1.6	0.0	0.0	△ 12.5	***	20.0	△ 14.2
	1月～3月予想	△ 6.6	0.0	△ 3.8	△ 14.2	***	0.0	△ 28.5
資金繰り	10月～12月実績	△ 11.1	△ 31.2	△ 26.9	12.5	0.0	0.0	14.2
	1月～3月予想	△ 10.1	△ 12.5	△ 23.0	14.2	△ 10.7	0.0	14.2
残業時間	10月～12月実績	1.1	0.0	△ 3.8	0.0	3.7	20.0	0.0
	1月～3月予想	1.1	6.2	△ 7.6	0.0	3.8	20.0	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 22.2	△ 6.2	△ 19.2	△ 11.1	△ 37.0	△ 60.0	0.0
	1月～3月予想	△ 21.8	△ 6.2	△ 19.2	△ 14.2	△ 34.6	△ 60.0	0.0

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	△ 2.4	△ 60.0	△ 12.0	△ 20.0	7.1	44.4	0.0
	1月～3月予想	△ 25.0	△ 80.0	△ 34.6	△ 60.0	0.0	△ 11.1	△ 16.6
売 上	10月～12月実績	7.2	20.0	△ 4.0	20.0	7.1	33.3	△ 16.6
	1月～3月予想	△ 9.5	40.0	△ 7.6	△ 60.0	0.0	0.0	△ 33.3
受 注 残	10月～12月実績	42.9	20.0	***	***	***	55.5	***
	1月～3月予想	7.1	40.0	***	***	***	△ 11.1	***
施工高	10月～12月実績	66.7	***	***	***	***	66.6	***
	1月～3月予想	11.1	***	***	***	***	11.1	***
収 益	10月～12月実績	1.2	0.0	△ 16.0	20.0	3.5	11.1	16.6
	1月～3月予想	△ 10.7	40.0	△ 11.5	△ 70.0	0.0	0.0	△ 16.6
販売価格	10月～12月実績	2.4	20.0	0.0	△ 10.0	7.1	△ 11.1	16.6
	1月～3月予想	△ 5.9	0.0	0.0	△ 10.0	△ 3.5	△ 22.2	△ 16.6
仕入価格	10月～12月実績	19.3	60.0	12.0	30.0	14.2	22.2	16.6
	1月～3月予想	10.7	20.0	19.2	20.0	3.5	0.0	0.0
在庫	10月～12月実績	△ 1.8	20.0	12.0	△ 40.0	***	△ 11.1	0.0
	1月～3月予想	3.6	0.0	7.6	0.0	***	0.0	0.0
資金繰り	10月～12月実績	△ 3.6	△ 40.0	△ 12.0	10.0	0.0	11.1	0.0
	1月～3月予想	△ 10.7	0.0	△ 15.3	△ 50.0	0.0	0.0	0.0
残業時間	10月～12月実績	14.5	80.0	0.0	40.0	10.7	11.1	0.0
	1月～3月予想	1.3	40.0	7.6	△ 30.0	7.1	△ 22.2	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 28.9	△ 80.0	△ 8.0	△ 50.0	△ 25.0	△ 66.6	0.0
	1月～3月予想	△ 13.3	△ 60.0	0.0	10.0	△ 22.2	△ 33.3	0.0

県北地区

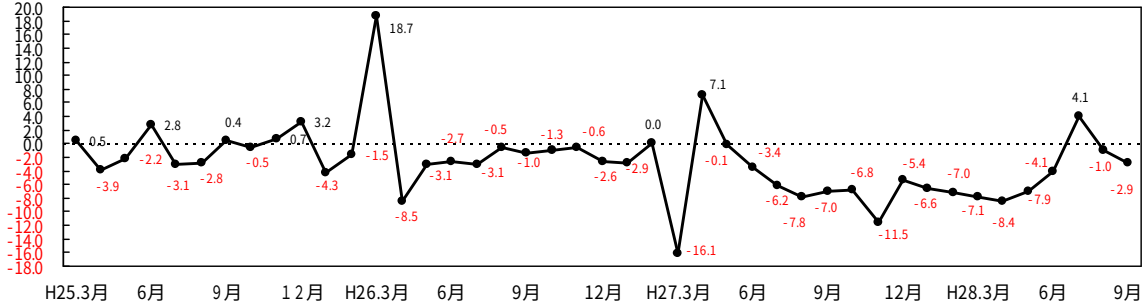
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	5.0	10.0	12.5	16.6	0.0	0.0	△ 25.0
	1月～3月予想	2.5	0.0	12.5	△ 16.6	0.0	12.5	0.0
売 上	10月～12月実績	12.5	0.0	12.5	33.3	0.0	12.5	25.0
	1月～3月予想	12.5	10.0	0.0	△ 33.3	50.0	25.0	50.0
受 注 残	10月～12月実績	11.1	10.0	***	***	***	12.5	***
	1月～3月予想	5.6	10.0	***	***	***	0.0	***
施工高	10月～12月実績	12.5	***	***	***	***	12.5	***
	1月～3月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収 益	10月～12月実績	0.0	△ 20.0	12.5	33.3	△ 25.0	0.0	0.0
	1月～3月予想	5.0	0.0	12.5	△ 33.3	25.0	12.5	25.0
販売価格	10月～12月実績	2.5	0.0	12.5	16.6	0.0	0.0	△ 25.0
	1月～3月予想	△ 2.5	10.0	0.0	△ 16.6	0.0	0.0	△ 25.0
仕入価格	10月～12月実績	20.0	20.0	25.0	33.3	50.0	12.5	△ 25.0
	1月～3月予想	5.0	20.0	0.0	0.0	25.0	0.0	△ 25.0
在庫	10月～12月実績	2.8	0.0	0.0	0.0	***	0.0	25.0
	1月～3月予想	5.6	0.0	0.0	16.6	***	0.0	25.0
資金繰り	10月～12月実績	△ 2.6	△ 20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	1月～3月予想	5.1	0.0	0.0	20.0	25.0	0.0	0.0
残業時間	10月～12月実績	5.0	10.0	12.5	16.6	0.0	△ 12.5	0.0
	1月～3月予想	12.5	50.0	12.5	0.0	0.0	△ 12.5	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 20.0	△ 30.0	0.0	△ 33.3	0.0	△ 25.0	△ 25.0
	1月～3月予想	△ 7.5	10.0	0.0	△ 16.6	0.0	△ 25.0	△ 25.0

大型小売店販売額

平成28年9月の県内大型小売店販売額は78億円で、前年同月比2.9ポイント下降となっています。品目別では、衣料品が前年同月比7.7ポイントの下降、飲食料品が1.0ポイントの上昇、その他の商品が5.9ポイントの下降となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前：経済産業省)

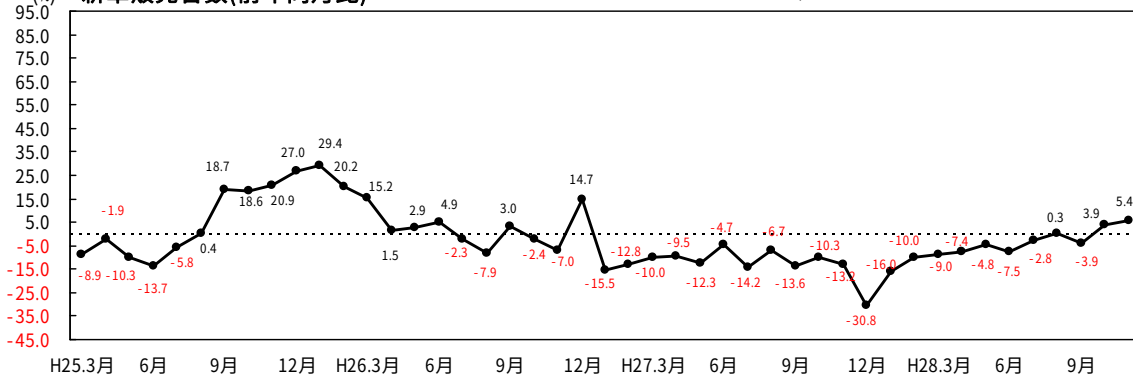


新車販売台数

11月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は4,149台で前年同月を5.4%上回りました。車種別では、普通乗用車が883台で前年同月比11.5%上昇し、小型乗用車が1,072台で前年同月比23.1%上昇となっています。また、軽四輪車の合計は1,875台で前年比5.8%下回っています。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

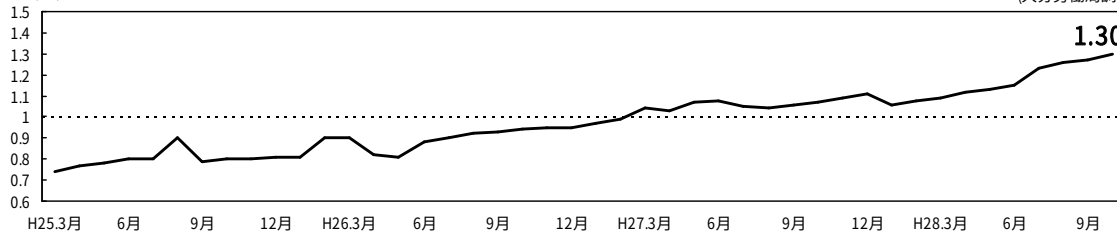


有効求人倍率

平成28年10月の県内有効求人倍率は1.30倍で、全国平均は1.40倍となりました。依然として県内全体での上昇基調は変わらず、地域別でも、大分管内1.45倍、別府管内1.11倍、中津管内1.07倍、日田管内1.25倍と上昇基調は続いています。

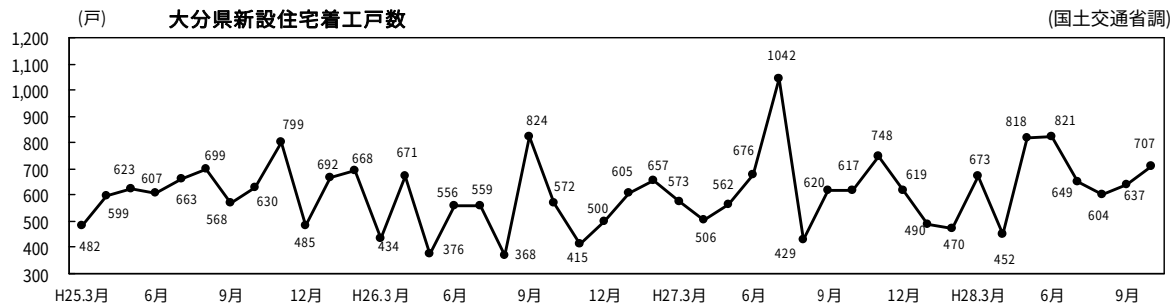
(倍) 有効求人倍率

(大分労働局調)



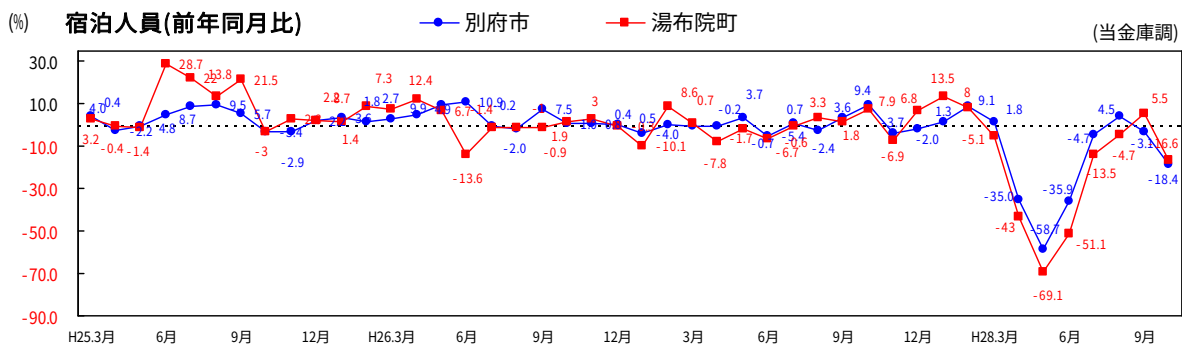
新設住宅着工戸数

平成28年10月の住宅着工戸数は707戸でした。10月の707戸のうち、持家は254戸、貸家は346戸、分譲住宅は74戸となっています。



観光動向

平成28年10月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で18.4ポイントの下降、湯布院地区で16.6ポイントの下降となりました。熊本地震以降、九州ふっこう割の効果もあり、7月～9月にかけて順調に回復してきましたが、第二弾ふっこう割の対象となる10月は、①割引率が下がったこと、②週末利用できなかったこともあり、第一弾ほどの効果は見られませんでした。



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、平成28年9月の県内の企業倒産件数は2件で8億9千3百万円、10月は倒産なし、11月は3件で2億2千9百万円となっています。

